



2024年4月5日

各位

会社名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 有働 敦
(コード番号8129 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営戦略本部長 河村 真
(電話 03-6838-2803)

「経営戦略委員会」設置と運営体制のお知らせ

当社は、2024年2月8日付「2024年3月期 第3四半期決算短信」にて、「経営戦略委員会」（以下、「本委員会」といいます）を取締役会の諮問機関として設置することをお知らせしております。その後、本委員会の本格的な始動に向けた議論・検討を重ね、本日の取締役会において、本委員会の運営体制を下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

【本委員会の目的】

当社は「全ては健康を願う人々のために」のコーポレートスローガンのもと「医薬品等の安定供給」を通じて社会・医療へ貢献することを社会的使命としております。当社を取り巻く社会、医薬品業界における今後想定される複雑かつ急激な変化を踏まえ、2023年度から中期経営計画2023-2025「次代を創る」をスタートし、基本方針として「事業変革」「成長投資・収益性向上」「サステナビリティ経営」「資本効率の改善と株主還元への向上」を掲げ、取り組みを進めております。この取り組みを加速させ、より実効性を高めることを目的として、取締役会の諮問機関として本委員会を設置いたしました。

本委員会では、①各事業（間接部門も含む）の収益性・生産性を向上させるための具体的な実行プランに加えて、②既存事業、周辺事業及び新規事業における成長投資の議論を進めてまいります。また、資本コストや株価を意識した上での③事業ポートフォリオの検証、④政策保有株式や事業に供する資産の保有の在り方の検証、及びこれらを踏まえた⑤キャピタル・アロケーションの検証を行うこととしています。

当社グループの企業価値向上を実現すべく、今後の議論の状況次第で追加、変更する可能性もありますが、各項目において以下の事項を中心に重要な経営戦略や事業戦略等について議論を進めてまいります。

- ① 各事業の収益性・生産性向上
営業体制の強化、物流体制の整備、バックオフィスを含む機能整備、各事業間のシナジー創出、新たな顧客支援ビジネスの創出
- ② 成長投資
成長分野（デジタル医療、デジタル診断、診断薬、健康・未病・予防、EC、グローバル市場等）への新規参入ないし投資強化
- ③ 事業ポートフォリオの検証
当社の強みに加えて資本効率及び経営効率の観点から各事業の検証、構造改革の検討
- ④ 政策保有株式や事業に供する資産の保有の在り方の検証
政策保有株式及び投資有価証券のさらなる縮減、物流施設やその他不動産の最適化、運転資本の効率性改善
- ⑤ キャピタル・アロケーションの検証
資本コストと資本収益性を意識した、資本配分及び成長投資と株主還元への資金配分

【構成メンバー】

本委員会は、その設置目的に鑑み、社内取締役4名（有働代表取締役CEO、枝廣代表取締役CFO、馬田専務取締役COO、松谷取締役）に加え、社外の視点も十分に活用するため、独立社外取締役2名（加茂谷社外取締役、小谷社外取締役）及び社外有識者2名（村山昇作氏、松井幸郎氏）の合計8名で構成するものいたします。

本委員会は当社経営の意思決定を行うものではありませんが、取締役会としては可能な限り本委員会の検証内容を尊重し経営に取り組む所存です。

今回、社外有識者として選定する方は、いずれも本委員会で扱うテーマに長けた知見を有する人材と史料しております。

村山氏は、日本銀行調査統計局長審議役、帝國製薬株式会社代表取締役社長、当社を含む上場企業での社外取締役（株式会社SCREENホールディングス、四国化成ホールディングス株式会社）としてのご経験に加え、株式会社タダノで筆頭独立社外取締役を務められており、資本市場と経営者の観点から意見を提供する役割を担っていただく予定です。

松井氏は、アステラス製薬株式会社のCCO（Chief Commercial Officer）等を歴任し、医薬品業界での豊富な経験と知見を有しており、事業の収益性・生産性の向上策や成長戦略を検証する役割を担っていただく予定です。

また、上記の本委員会メンバーに加え、専門性の高い有識者の知見を活かして本委員会における議論を活性化させることを目的として、資本市場及び医薬品業界における豊富な経験と知見を有する有識者1名、並びに、医薬品業界及びコンサルティングにおける豊富な経験と知見を有する有識者1名の合計2名を本委員会のアドバイザーとして選任し、本委員会のサポートをしていただく予定です。

【今後のスケジュール】

本委員会における検証結果を踏まえた施策は、2024年11月を目途に開示予定です。

以上